

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ヒト幹細胞情報化推進事業			担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	平成28年度	担当課室	研究開発振興課		課長：森光 敬子			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成25年法律第85号)					
主要政策・施策	-			主要経費	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行うことにより、ヒト幹細胞臨床研究を促進し、研究者及び患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにすることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞(iPS細胞、ES細胞、疾患特異的iPS細胞を含む。)の作成・保存方法、性質等の情報を取りまとめ、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベース(日本語版・英語版)を構築する。									
実施方法										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	113	100	86	0				
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
	計		113	100	86	0	0			
	執行額		101	89	78					
	執行率(%)		89%	89%	91%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		89%	89%	91%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	計		0	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	平成28年度にデータベースへのアクセス数を30万件まで引き上げる		データベースへのアクセス数	成果実績	件	99,751	253,293	316,619	-	316,619
				目標値	件	60,000	150,000	300,000	-	300,000
				達成度	%	166	169	105	-	105
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	データベースに登録された細胞数		活動実績	件	207	218	2,816	-	-	
			当初見込み	件	100	200	200	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	X / Y		単位当たり コスト	円	548,745	486,215	27,563	-		
	X:「執行額」 Y:「データベースに登録された細胞数」		計算式	X/Y	90,542,904/165	100,646,543/207	77,619,850/2,816	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること									
	施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標I-8-1)									
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
										- 年度	29 年度
		再生医療等安全性確保法において新たに届出された再生医療等提供計画(臨床研究に限る)の件数			実績値	件	-	-	-	-	-
				目標値	件	-	-	-	-	2,887	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	ヒト幹細胞データベースを構築し、国内外の情報を一元化することによりヒト幹細胞を用いた研究を促進し、再生医療の実用化の推進を図る。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
					- 年度			- 年度	- 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
						- 年度			- 年度	- 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められており、民間にゆだねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	再生医療は迅速な実用化のため、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	総合評価入札で選定しており、妥当。 (平成25年度～平成28年度までの国庫債務負担)	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	当該事業の実施に必要な経費のみを予算計上している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当該事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業内容の達成のために必要な経費のみの計上となっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	必要のない作業を行わないよう、事業者とは事業の方向性等について定期的に打ち合わせを行っている。		
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	公開セミナーの開催や、再生医療等に関する社会的な関心の高まり等により、成果目標を上回る実績となった。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動見込みを上回る実績となった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	情報を一元管理することにより、再生医療の実用化の推進が図れるため、十分に活用されていると言える。	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。	
	所管府省名	事業番号		事業名
	厚生労働省			ES細胞・iPS細胞臨床研究指针对策費
	厚生労働省			再生医療促進事業費
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	平成28年度には、海外のデータベースとの連携を図ったため、登録細胞数の件数を格段に増加している。また、分かりやすいHPの作成やセミナーの開催等の広報活動により周知を行うことで、アクセス件数も成果目標を達成しており、活動目標ともに、目標を上回る成果をあげている。		
	改善の方向性	国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースを構築するという事業目的について、概ね達成することができたため、本事業を終了することとした。		

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	新24-0007	平成24年度	新24-006	
平成25年度	212	平成26年度	225	平成27年度	234	
平成28年度	231					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
78百万円

国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行う。ヒト幹細胞臨床研究を促進し、患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにする。

【国庫債務負担行為(平成25年度～29年度)】

A.学校法人慶應義塾
78百万円

【研究者への情報提供、データベースの構築】

【随意契約(その他)】

B.(株)日立製作所
21百万円

【幹細胞情報化推進基盤のソフトウェアやハードウェア等の環境の構築・保守作業】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

